

次世代火山研究推進事業 課題 D-3 東京大学大学院情報学環の参加機関への追加について

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの評価会においては、サブ課題 D-3 で開発している情報ツールについてその成果のアウトプットを検討する際に社会科学分野の研究者と連携すべきとの指摘がプロジェクト開始当初よりなされていた。

さらに令和元年度の間評価において、今後のさらなる展開推進に向けて自治体防災担当者のニーズへの対応を含めた検討・工夫が望まれること、及び火山研究の範囲で応えられないニーズについては関係機関との連携による取り組みが望まれることが指摘された。

こうした指摘を踏まえて本プロジェクトのプロジェクト・リーダー及びプロジェクト・アドバイザーがサブ課題 D-3 の実施体制について検討を重ね、社会科学の観点から火山防災のあり方に関する研究に取り組んできた東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）を新たに参加機関に追加する方向で調整を進めていた。

今般、CIDIR においてサブ課題 D-3 に参加し得る環境が整ったことから、令和 2 年度より新たに参加機関に加わり、情報ツールによる情報発信のあり方を検討することとなった。また、同センターは火山学と社会科学の両分野の研究者による勉強会など、火山研究と防災研究の交流を予定しており、両分野の連携強化が期待される。

上記の理由から、東京大学情報学環をサブ課題 D-3 の参加機関とする件について総合協議会の御了承を求める次第である。

課題 D-3 実施体制

変更前	変更後（令和 2 年度～）
防災科学技術研究所（代表機関）	防災科学技術研究所（代表機関）
大林組技術研究所（参加機関）	大林組技術研究所（参加機関）
富士山科学研究所（参加機関）	富士山科学研究所（参加機関）
	<u>東京大学大学院情報学環（参加機関）</u>